

法人名	社会福祉法人ひよこの会
施設名	エミールの森ひよこ保育園・エミールの森ひばり保育園

発表者名 (職名)	澤野早紀 主任(ひよこ)	住所	横浜市栄区小山台1-33-10		
発表者名 (職名)	中井啓介 保育士(ひばり)	TEL	045-891-6766	FAX	045-392-6718
資料作成 (職名)	及川義明 園長(ひばり)	メールアドレス			
		URL	https://www.hiyoco.or.jp		
		定員	ひよこ(60名)・ひばり(40名)	職員数	25名

発表の概要・内容

★法人の特色★

エミールの森ひよこ保育園は、山と畑に囲まれた地で、栄区に認可保育園は不要と言われた時代に、無認可保育園から自分達の力で、職員と保護者も一丸となり私財をなげうって立ち上げた、横浜市でも類を見ない何とも不思議な45年の歴史を持つ認可保育園。その異色の文化を継承してできたのがエミールの森ひばり保育園です。両園「おもいきりのびのび保育」と、決まった形式の行事等はつまらない！興味の体現と活動がそこにあります。

★普通とは何か？

保育園にとっての「普通」とは、特別なことをするのではなく、日常の中の当たり前を深く楽しみ、工夫して育ちに変えること。現代では見過ごされがちな“レトロ”な体験を大切に、身近な自然や人との関わりの中で、子どもが主体的に生きる力を育てている。

★子ども主体の保育

子どもを「生活の主体者」として尊重し、自分でやってみる体験を大事にし、すぐに手を出さずに、子ども自身の力を信じて見守る保育を実践。

★保育者の姿勢と哲学

保育者は「子どもの力を信じる」ことを第一にし、信頼される存在を目指し「やってあげること」が親切とは限らず、子どもの育ちに必要な“間”を大切に作る姿勢が大切。また、子どものつぶやきを拾い、遊びへと自然に展開させる柔軟さを持っている。

★あえての普通を楽しむ

特別な玩具や活動ではなく、図鑑で虫を探す、草花で遊ぶ、自然に触れるなど、シンプルな体験を大切に、「答えがすぐ手に入る」便利さの中で、あえて“ちょっと不便”なことを楽しむ保育をしている。それが日々の自然との関わりの中で、子どもたちの想像力や発見力に繋がっている。

★地域・社会とのつながり

地域との連携や平和教育(ペットボトルのキャップでワクチン寄付)、災害学習、花の種のおすそ分けなど、社会との接点を持つ活動にも積極的に活動し「昔ながらの暮らし」や「森と共にある生活」も、今の子どもたちにとっては新鮮で豊かな体験になっている。

★森の日の取り組み

毎月8日＝「∞(無限)」という意味を込めて「森の日」を制定。

自然とのかかわりの中で、教え込むのではなく、子どもが自ら学びに気づく保育を実践。昆虫講座や、森のごはん作りなど。また、食育にも力を入れ、地産地消や旬の食材の活用、肉・魚を使わないメニューの構築。

★結論：「普通」が「特別」に変わる瞬間

保育園では、「普通」の日常の中に子どもの育ちのタネがたくさんあり、「何もないからつまらない」ではなく、ないなら作ろう、工夫しようという姿勢が、子どもと保育者を成長させている。保育は、物があるかないかではなく、どう活かすか、どう育むかの発想力が鍵である。